

## 平成 30 年度対クック諸島草の根・人間の安全保障無償資金協力 「ティムリモティア消防署はしご消防車整備計画」引渡式典

2019 年 7 月 12 日、平成 30 年度対クック諸島草の根・人間の安全保障無償資金協力「ティムリモティア消防署はしご消防車整備計画」の引渡式がラロトンガ島で行われ、小林弘裕大使、セリーナ・ナパ国会議員、アリストアー・マッコリー消防隊長、(社)日本外交協会の関係者ら約 40 名が出席しました。

本計画で、日本は、同消防署へ約 13.2 万 NZドルを支援し、はしご消防自動車の供与を行うと共に、消防隊員に対して、はしご消防車運用のための研修を4日間行いました。同支援によって、これまで消火活動が難しかった島内の住宅密集地や高いビルなどに対して、有効かつ効率的な消火活動ができることとなります。ナパ議員及びマッコリー消防隊長からは、一昨年の消防署建設に加え、昨年の日本外交協会を通じたポンプ消防車や水タンク車の供与、今年も同協会を通じて非常に状態の良いはしご消防車を供与いただくことになり、日本からの多大な支援に対して、日本政府及び国民に深く感謝する旨の言葉がありました。



大使のスピーチ



はしご消防車のテープカット



はしご消防車のデモンストレーション(その1:昇降)



はしご消防車のデモンストレーション(その2:放水)



消防隊員、外交協会関係者の記念撮影